

奈良県地域の交通安全サポート事業所



登録番号 17

（フリガナ） 事業所名	（イッパンシャダンハウジン ニホンジドウシャレンメイ ナラシブ） 一般社団法人 日本自動車連盟 奈良支部	
所在地	〒630-8113 奈良市法蓮町383	
電話番号	0742-90-0081	
FAX	0742-90-0085	
URL	http://www.jaf.or.jp/index.htm	
活動の内容	（「交通安全サポート事業所等活動メニュー」のとおり。） <div style="text-align: right;">合計 30点</div>	
現在の活動状況	① 現在、交通安全活動を実施している。	② 新たに交通安全活動を始める。
事業所等のPR等	<p>JAFでは、社会貢献活動の一環として、自動車ユーザーをはじめ幼児や小中高生などすべての交通参加者を対象に、座学や実技による各種交通安全講習会の開催や講師派遣を行い、交通違反や交通事故を撲滅し、安全で安心な地域社会の発展に貢献すべく日々積極的に活動しております。</p> <p>平成23年度交通安全活動実績：実施回数 185回、参加者 9,951名（主要実績）</p> <p>① 座学型講習講師派遣回数 63回、受講者 3,712名 ② 実技型講習開催数 48回、受講者 347名 ③ シートベルト効果体験車稼働回数 29回、体験者数 1,892名</p>	

交通安全サポート事業所等活動メニュー

A 地域における交通安全活動	点数
① 地域や自治体の交通安全行事に積極的に参加します。（少なくとも年2回以上）	1
② 地域の自治体・団体と連携し、立哨活動等の交通安全活動を行います。	2
③ 事業所等周辺のヒヤリハット体験を活かし、危険箇所等を道路管理者等へ情報を提供します。	1
B 地域の安全ボランティア活動への支援	
③ 地域の交通安全ボランティア団体等に資材置き場、活動場所等の拠点を提供します。	1
C 県内の交通安全県民運動（交通事故防止運動）における活動	
① 奈良県内の交通安全県民運動（交通事故防止運動）期間において（地域の交通安全活動団体と連携し）、積極的に交通安全を啓発する活動を行います。	2
③ 奈良県内の危険箇所等交通安全総点検を行い、道路管理者等へ情報を提供します。	1
D 各種イベントにおける啓発活動	
① 不特定多数が参加するイベントで、交通安全を啓発する活動を行います。	2
F 顧客に対する交通安全活動	

②	事業所等において、ドライバーに対して酒類を提供しないことを宣言します。 (ハンドルキーパー運動への参加)	1
③	顧客に対し、交通安全情報を提供します。(シートベルトの効果、運転中の携帯電話の危険性、自転車の安全な利用等)	2
G 従業員等の交通安全意識の向上		
②	Eメール、交通事故速報、ポスター等様々な媒体による事業所等内広報を行います。	1
③	事業所等用自動車に、「交通安全」、「安全運転宣言車」、「交通事故のないやすらぎの大和路づくり」等のステッカーやシールを貼付して走行します。	3
④	後部座席を含め、全ての座席のシートベルトの着用を事業所等で徹底します。	2
⑤	事業所等を挙げた交通安全キャンペーン(法定速度走行、飲酒運転の根絶等)を実施します。	2
⑥	従業員等に対し、交通事故の発生状況、交通事故防止対策等の情報を提供します。	1
⑦	事業所等において、飲酒運転の根絶宣言を行い、「飲酒運転根絶事業所」等であることを表示します。	2
H 従業員等に対する交通安全教育		
①	運転時の全席シートベルト着用の指導を徹底します。	2
②	夕暮れ時における早めのライト点灯の指導を徹底します。	2
③	事業所等で宴会等がある場合は、帰宅の方法について確認し、飲酒運転禁止を徹底します。	1
⑤	従業員に対し、自転車乗車時の、傘さし運転、イヤホン・ヘッドホン等の使用禁止を徹底します。	1
合計点数 (7 点 以上)		30

(点数の基準)

- 1点 すぐに実施できる比較的簡単なもの
- 2点 実施するには一定の拘束時間や人手等を提供する必要があるもの
- 3点 資金提供を行う等の負担がかかるもの

令和元年度

項目	活動概要	
座学講習会	<p>企業や学校、自治体などからのご依頼により交通安全講習会の講師を派遣しています。講習は交通安全やエコドライブなどについてオリジナルコンテンツに基づいておこないます。</p>	
	開催数	受講者数
	70	7,188
体験しながら学べる実技型運転講習会	<p>セーフティトレーニングやシニアドライバーズスクール、女性を対象とした車庫入れ教室など、日常の運転を見直すきっかけ作りとして実施しています。また、自動車販売店の協力もいただきASV（先進安全自動車）の体験をおこない正しい理解と啓発をおこなっています。</p>	
	開催数	参加者数
	21	380
小・中・高等学校対象の交通安全活動	<p>自転車教室として、自転車の片手運転やスマホを使用しながら運転をおこなう危険性や、自動車の制動距離を確認する講習会をおこなっています。また、自動車の死角や灯火類の説明、シートベルト全席着用の啓発を同時におこなっています。</p>	
	開催数	参加者数
	15	1,403
幼児対象の交通安全活動	<p>JAF交通安全ドレミぐるーぶにより、園児や保護者を対象に音楽や紙芝居を通じて交通ルールを守ることの大切さを楽しみながらわかりやすく伝え、加えて子ども安全免許証も作成し、交通事故の防止に役立てる活動をおこなっています。</p>	
	開催数	参加者数
	18	1,670
シートベルト着用の啓発活動などの交通安全イベント	<p>ショッピングモールや道の駅などで交通安全イベントを開催しています。交通安全クイズに答えてもらえる「子ども安全免許証」、時速5kmの衝突体験ができる「シートベルトコンピンサー」、夜間の反射材効果が視認できる「リフレクBOX」、飲酒運</p>	

	<p>転撲滅のため「飲酒体験ゴーグル」などのツールを活用しています。また、奈良県警察と連携した活動も展開しています。また、イオンモール大和郡山店では定期的な開催（毎月第4日曜日）も実施させていただいています。</p>	
	公演回数	参加者数
	310	22,416
「信号機のない横断歩道」における歩行者優先実態調査を実施	<p>調査は奈良県内の2箇所を実施し、信号機が設置されていない横断歩道を通過する車両を対象におこなったところ、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車は16.1%（前年より4.3%増）という結果になりました。これは、全国平均17.1%に対して1.0%下回る数字です。依然として8割以上のクルマが止まらないことがわかっています。</p> <p>JAFではレッカー車全車に「横断歩道 歩行者優先！」のマグネットステッカーを貼付し、意識の向上を図っています。</p>	
「シートベルト着用状況全国調査」を実施	<p>奈良県内19箇所を調査したところ、後部座席（以下、後席）でのシートベルト着用率は、一般道路で45.1%（前年比7.1ポイント増）、高速道路等は72.0%（前年比2.8%ポイント増）でした。</p> <p>一方で運転席の着用率は一般道路で99.2%（前年比0.3ポイント増）、高速道路等で99.7%（前年同数）、助手席においてもそれぞれ90%を超える結果となりました。</p> <p>一般道路と高速道路等では着用率に約2倍の差がある等、一般道路の着用率の低さが際立ち、後席シートベルト着用の重要性や非着用の危険性が十分に認識されていないことを示す結果となりました。</p>	
<p>道路交通環境の改善活動 （JAF 奈良支部交通安全実行委員会）</p>	<p>日常生活の中で危険や不便を感じている標識など改善が望まれる道路について、ドライバーから募った意見をもとにその内容を調査・検討した上で道路管理者や関係機関などに改善提案をおこなっています。</p>	
	開催数	1
	審議数	1
総開催数	総受講（体験）者数	
435	33,057	

平成30年度

項目	活動概要	
座学講習会	<p>企業や学校、自治体などからのご依頼により交通安全講習会の講師を派遣しています。講習は交通安全やエコドライブなどについてオリジナルコンテンツに基づいておこないます。</p>	
	開催数	受講者数
	64	6,180
体験しながら学べる実技型運転講習会	<p>セーフティトレーニングやシニアドライバースクール、女性を対象とした車庫入れ教室など、日常の運転を見直すきっかけ作りとして実施しています。また、ASV（先進安全自動車）の体験をおこない正しい理解と啓発をおこなっています。</p>	
	開催数	参加者数
	22	530
小・中・高等学校対象の交通安全活動	<p>自転車教室として、自転車の片手運転やスマホを使用しながら運転をおこなう危険性や、自動車の制動距離を確認する講習会をおこなっています。また、自動車の死角や灯火類の説明、シートベルト全席着用の啓発を同時におこなっています。</p>	
	開催数	参加者数
	10	1,538
幼児対象の交通安全活動	<p>JAF交通安全ドレミぐるーぶにより、園児や保護者を対象に音楽や紙芝居を通じて交通ルールを守ることの大切さを楽しみながらわかりやすく伝え、交通事故の防止に役立てる活動をおこなっています。</p>	
	開催数	参加者数
	13	1,738
シートベルト着用の啓発活動などの交通安全イベント	<p>ショッピングモールや道の駅などで交通安全イベントを開催しています。交通安全クイズに答えてもらえる「子ども安全免許証」、時速5kmの衝突体験ができる「シートベルトコンビンサー」、夜間の反射材効果が視認できる「リフレクBOX」、飲酒運転撲滅のため「飲酒体験ゴーグル」などのツールを</p>	

	活用しています。また、奈良県警察と連携した活動も展開しています。	
	公演回数	参加者数
	281	20,764
<p>「信号機のない横断歩道」における歩行者優先実態調査を実施</p>	<p>調査は奈良県内の2箇所を実施し、信号機が設置されていない横断歩道を通る車両を対象におこなったところ、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車はわずか11.8%という結果となりました。これは、全国平均8.6%に対して3.2%上回る数字です。しかし、全国平均を上回ったとはいえ依然として8割以上のクルマが止まらないことがわかっています。</p> <p>JAFではレッカー車全車に「横断歩道 歩行者優先！」のマグネットステッカーを貼付し、意識の向上を図っています。</p>	
<p>「シートベルト着用状況全国調査」を実施</p>	<p>奈良県内19箇所を調査したところ、後部座席（以下、後席）でのシートベルト着用率は、一般道路で38.0%（前年比2.8ポイント増）、高速道路等は69.2%（前年比6.1%ポイント増）でした。</p> <p>一方で運転席の着用率は一般道路で98.9%（前年比0.5ポイント減）、高速道路等で99.7%（前年比0.3ポイント増）、助手席においてもそれぞれ90%を超える結果となりました。</p> <p>一般道路と高速道路等では着用率に約2倍の差がある等、一般道路の着用率の低さが際立ち、後席シートベルト着用の重要性や非着用の危険性が十分に認識されていないことを示す結果となりました。</p>	

<p>「チャイルドシート使用状況全国調査」を実施</p>	<p>調査の結果、奈良県での6歳未満のチャイルドシートの使用率は62.1%で、全国平均の66.2%を下回っておりますが、昨年度の調査結果からは4ポイント上回る結果となりました。</p> <p>一方、チャイルドシートを使用していない内容として「車両シートにそのまま着座」がもっとも多く16.4%、次いで「大人用シートベルトを着用」10.7%、「保護者の抱っこ」7.5%、「チャイルドシートにそのまま着座」3.3%という結果となりました。</p> <p>また取付け・着座状況調査では、腰ベルトの締付け不足や、ハーネス（チャイルドシートの子ども用ベルト）の締め付け不適正と高さ調節間違いなどミスユースが目立ち、チャイルドシートを使用しているにもかかわらず誤った使い方によりチャイルドシートの意味をなさないものが多くありました</p>	
<p>道路交通環境の改善活動 (JAF 奈良支部交通安全実行委員会)</p>	<p>日常生活の中で危険や不便を感じている標識など改善が望まれる道路について、ドライバーから募った意見をもとにその内容を調査・検討した上で道路管理者や関係機関などに改善提案をおこなっています。</p>	
	<p>開催数</p>	<p>1</p>
	<p>審議数</p>	<p>1</p>
<p>総開催数</p>	<p>総受講（体験）者数</p>	
<p>390</p>	<p>30,750</p>	

平成29年度活動

項目	活動概要	
<p style="text-align: center;">座学講習会</p>	<p>本年度は、自治体様から職員向けの交通安全(危険予知・事故防止抑制)講習および企業様より要請があり受講者も前年比106%294名増加となりました。企業様については新規、リピートのご依頼があり内容も日常を題材としたものにしました。また、派遣講師のスキルアップとより親しみ易い内容を目的に社内研修をおこない、研鑽しております。</p>	
	<p style="text-align: center;">開催数</p>	<p style="text-align: center;">受講者数</p>
	<p style="text-align: center;">58</p>	<p style="text-align: center;">5,113</p>
<p style="text-align: center;">実技型運転講習会</p>	<p>「セーフティトレーニング」や「シニアドライバーズスクール」「ニガテ運転克服法」「初心者ドライビングスクール」など多彩な講習会を実施し「日常の運転」「日常の予防安全」を昨年に引き続き行い受講者により認識頂くきっかけ作りを提供しています。また本年度はASV(先進安全自動車)の体験講習を県警察本部と企画、開催し衝突被害軽減ブレーキや誤発進抑制装置による踏み間違い防止機能等の正しい理解と普及促進に努めました。その他、エコトレーニングやチャイルドシートチェックアップ・救命救急講習会を開催しました。</p>	
	<p style="text-align: center;">開催数</p>	<p style="text-align: center;">参加者数</p>
	<p style="text-align: center;">30</p>	<p style="text-align: center;">430</p>
<p style="text-align: center;">環境保全活動</p>	<p>企業や団体の依頼に基づくエコドライブ講習や実車を使用して、環境とお財布に優しいエコ運転を学ぶ「エコトレーニング」の開催、児童の環境保全意識醸成目的に「子どもECOカードの発行」など、環境保全促進を実施しています。</p>	
	<p style="text-align: center;">開催数</p>	<p style="text-align: center;">参加者数</p>
	<p style="text-align: center;">2</p>	<p style="text-align: center;">90</p>
	<p>本年度は、県警察本部や各署との合同で小学校を中心に講習会を実施しました。また高校、中学は新規、リピートにより依頼を頂き各校のご要望を主軸に、自転車の運転や登下校を含む危険性に対する安</p>	

<p>高校・中学校・小学校対象の交通安全活動</p>	<p>全対策を踏まえた座学型及び実習型の講習会を実施しました。また、ご要望により高校生へは、二輪車の運転特性や卒業後に必要な自動車への危険性等安全教育、啓発を実施しました。</p>	
	開催数	参加者数
	26	4,175
<p>幼児対象の交通安全活動 (JAF 交通安全ドレミぐるーぷ)</p>	<p>ボランティアグループを主体に幼稚園・保育園・こども園で幼児や保護者を対象に、音楽演奏や紙芝居などを通じて交通安全啓発活動をおこないました。また今年も、子ども免許証を受講者全員に発行し子供達一人ひとりが交通ルールと事故防止に役立て頂ける様実施しました。</p>	
	公演回数	参加者数
	19	2,084
<p>シートベルト着用啓発、 反射材の利用の啓発および 交通安全イベント出展</p>	<p>シートベルト効果体験車による時速約5~7キロでの全席シートベルト効果体験をはじめ、お子様の顔写真入りの「子ども交通安全免許証」の発行や、反射材啓発(リフレクBOX)を行い、交通安全意識の高揚を図りました。また、奈良県内の着用率(後部座席)向上と非着用時の危険性を中心に昨年に引き続き啓発に努めました。</p>	
	実施数	参加者数
	231	19,594
<p>道路交通環境改善活動 (JAF 交通安全実行委員会)</p>	<p>ドライバーから募った日常生活の中で不便などを感じている標識や道路及び危険性等について、意見をもとに調査・検討を重ねた上で、道路管理者や行政機関に改善要望書を提出しました。 (委員長：大阪大学 篠原 光一教授へ変更 蓮花一己学長教授は委員としておいていただいています。)</p>	
	委員会回数	審議件数
	1	1
<p>交通安全活動及び環境保全活動、その他活動(道路損傷等に関する情報提供は含まず)</p>		
総開催数	総参加者数	
366	31,536	

平成28年度活動

項目	活動概要	
<p style="text-align: center;">座学講習会</p>	<p>企業、学校、自治体などの要請により、学校・地域の交通安全やエコドライブなどをテーマとした講習会や企業内研修に講師を派遣しています。また、派遣講師のスキルアップと均質化を目的に「講師養成プログラム」により社内制度をおこない、合格者のみを派遣しています。また、全国の講師レベル均一化及び向上を図っています。</p> <p>小・中・高等学校の生徒を対象とした、歩行・自転車（通学含）の危険性と安全教育、啓発を実施しました。</p>	
	開催数	受講者数
	64	4,819
<p style="text-align: center;">実技型運転講習会</p>	<p>「セーフティトレーニング」や「シニアドライバーズスクール」「ニガテ運転克服法」「初心者ドライビングスクール」など多彩な講習会を実施し「日常の運転」「日常の予防安全」を再確認頂くきっかけ作りを提供しています。またASV（先進安全自動車）の体験試乗会を開催し衝突被害軽減ブレーキやESC（横滑り防止装置）の正しい理解と普及促進に努めています。その他、エコトレーニングやチャイルドシートチェックアップ・救命救急講習会を開催しました。</p>	
	開催数	参加者数
	31	372
<p style="text-align: center;">環境保全活動</p>	<p>実車を使用して、環境とお財布に優しいエコ運転を学ぶ「エコトレーニング」の開催や、企業や団体の依頼に基づくエコドライブ講習のほか、児童の環境保全意識醸成目的に「子どもECOカードの発行」もおこない環境保全推進を実施しています。</p>	
	開催数	参加者数
	8	438

<p>高校・中学校・小学校対象の交通安全活動</p>	<p>各校のご要望を主軸に、自転車の運転や登下校を含む歩行時の危険性や安全対策を踏まえた座学型及び実技型の講習会を実施しています。また、ご要望により高校生へは、二輪・自動車運転特性や回避術等の講習を実施しています。</p>	
	開催数	参加者数
	9	1,865
<p>幼児対象の交通安全活動 (JAF 交通安全ドレミぐるーぷ)</p>	<p>ボランティアグループを主体に幼稚園・保育園で幼児や保護者を対象に、音楽演奏や紙芝居などを通じて交通安全啓発活動をおこない、子どもたちの交通事故の防止に役立てています。</p>	
	公演回数	参加者数
	14	1,794
<p>シートベルト着用啓発、 反射材の利用の啓発および 交通安全イベント出展</p>	<p>シートベルト効果体験車による、時速約5～7キロでの全席シートベルト効果体験をはじめ、お子様の顔写真入りの「子ども安全免許証」の発行や、反射材啓発(リフレクBOX)を行い、交通安全意識の高揚を図りました。また、奈良県内の着用率(後部座席)向上と非着用時の危険性を中心に、啓発に努めました。</p>	
	実施数	参加者数
	181	17,426
<p>道路交通環境改善活動 (JAF 交通安全実行委員会)</p>	<p>日常生活の中で危険や不便などを感じている標識や道路等について、ドライバーから募った意見をもとに調査・検討を重ねた上で、道路管理者や行政機関に改善要望書を提出しました。 (委員長：帝塚山大学 副学長 蓮花一己教授)</p>	
	委員会回数	審議件数
	2	4
<p>交通安全活動及び環境保全活動、その他活動(道路損傷等に関する情報提供は含まず)</p>		
総開催数	総参加者数	
302	26,483	